

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 運動療育センターキーツ・ビート		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日 ～ 令和 8 年 2 月 15 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 18	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日 ～ 令和 8 年 2 月 14 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 5 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種なスタッフの配置	保育士、理学療法士、公認心理師、児童指導員、と異なる資格を持ったスタッフでチームを構成している。 定期的にミーティングを実施し、利用者の情報や支援方針を共有している。	定期的な外部研修や合同研修を実施しスタッフの強みを伸ばしていく。
2	子どもに合わせた運動療育に取り組んでいる	子ども達の運動レベルや情緒の様子を見ながら達成感を味わい、楽しんで活動できるように活動内容を配慮している。	活動の記録を振り返り、運動の得意・不得意をより細かく分析をする事で、活動内容を更に充実させていく。
3	子どもに合わせた個別支援の工夫	保護者様からの要望を確認し子どもの発達段階・関心に応じて、様々な教材を用意し個別支援を実施している。	他事業所のアドバイスなどを積極的に取り入れ支援内容を継続的に見直す体制を強化する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少ない	支援時間が短時間であることから外部との交流が少ない傾向にあり、地域との接点がもちにくい。	運動の時間が確保できる範囲で地域との交流を段階的に、取り入れる計画を立てる。
2	保護者同士の交流機会が少ない	保護者を対象とした勉強会や保護者同士の情報交換の場を企画、検討していく。	保護者のニーズに合わせた交流の機会を企画する。同じ悩みや困りごとを話す場を作り、情報、解決への糸口を共有する場を提供する。
3			